

<質問・意見等一覧>

	質問等	回答
◆議事(1)山口市幼児教育・保育サービス検討懇話会について		
	質問等なし	
◆議事(2)山口市の幼稚園、保育園の状況		
1	「定員数」>「入所希望者数」で待機児童が発生する理由は何か。	区域別、年齢別により、申込みが集中し、定員数を超えているため。
◆議事(3)「公立園のこども園化」		
1	合同保育は、法的に問題はないか。	実際は交流保育で、現在も時々一緒に活動しており、その回数を増やすもの。
2	大内幼稚園(建物)は、そのまま残り、幼稚園から保育園に来るといふことか。	幼稚園に登園した後、保育園へ行き一緒に過ごすもの。 こども園化の際は、手続き等行う必要があり、当面の集団教育を確保するもの。
3	あくまで、子どもの集団生活のためといふことか。職員の整理や手続き等も行うのか。	来年度は交流保育を行いたい。 公立の再編統合やこども園化は、手続きや人数など精査しながら行っていく。
4	合同保育は、毎日行うのか。	週に何日かから始め、できる範囲で回数を増やすなどを考えている。 なお、懇話会ではこうした内容も話すものとされており、今回議事としてお示した。 実施にあたっては、関係先へ個別に説明等行う。
◆議事(4)「教育・保育の供給過剰地域における認定こども園移行の考え方について」		
1	保育園が認定こども園化する場合、幼稚園教諭の資格取得について、バックアップ等の議論はされているか。	現在は経過措置期間中で、どちらかの免許で良い。期間終了後は両方の免許が必要となる。 現在国は、免許が取りやすい施策を行っている。(受講時間数の減など)
2	取りやすくなっているのは、保育士資格取得の場合のみか。	保育士資格と幼稚園教諭のどちらも取りやすくなっている。
3	この考え方は、公立私立ともに同じか。	これは私立の場合の考え方。
4	幼稚園型認定こども園の場合、保育士、教諭の確保が今以上に大変になる。	幼保連携型認定こども園では、保育教諭という両方の免許が必要。 保育所型と幼保連携型では、指導の仕方や免許の必要性など類型により異なる。
5	山口県や山口市は保育園のこども園化が全国的にも遅れており、市内では私立保育園が認定こども園になったケースも無い。 事業者がこども園化を判断するためには、情報提供をお願いしたい。	市としても情報提供を行う。

◆議事(5)その他(各委員からの意見)

1	<p>待機児童解消が進み、定員総数が上回ってきている中、保育士が確保できない。 新たな人材が入らず、保育を提供する能力が落ちるという懸念があり、現場も疲弊している。 「保育サービス」が前面に出ており、保育士がやりがいの持てる保育に繋がっていないと感じる。 最優先は、子ども達を安全に預かる体制づくりである。処遇改善もあるが、園に対する支援が進んでいない。 その中、新規事業へ取り組むことで、現場は疲弊し大変な状況にあり、子どもや親たちに繋がる解決策にならないと考える。</p>
2	<p>数字を見ると大変な状況の中、この会議では保育園の立場でしっかり伝えていきたい。</p>
3	<p>台風が接近しても、保育所が預かってくれるおかげで、働く親は仕事ができる。 先生や学生など、「この仕事をしたい」となるよう支援やサポートがもっと必要。 こども園化で整理された後、空いた施設をどう活用するか。 子どもたちが伸び伸びと育つ環境づくりをセットで計画されると、「山口市で子育てをしよう」と考えるのではないか。</p>
4	<p>子どもの人数によらず、子どもの最善の利益を一番に考えて保育をしたい。 自分の立場でできることを考えていきたい。</p>
5	<p>説明について、色々な園の状況を浮かべながら聞いた。 他の委員と同じ気持ちで、時代が変わる中、「質の高い保育」をどのようにすればできるか。これからの山口市の子どもや職員のことを考え、安全な保育をと思う。</p>
6	<p>保育指針も教育要領も基本的に目指すところ是一緒。 保育所の認定こども園化により、「要件を満たさず退所」となる人がでない施策は大切なこと。 保育園や幼稚園が今後どのような形で進んでいくのか、有意義な会議になれば良い。</p>
7	<p>数年前から県が保育士就学資金貸付制度を始め、今年新たに幼稚園の貸付制度が始まった。 市町では、働いて何年経てば返還不要という奨学金制度もあり、山口市でも検討をお願いしたい。</p>